



もちづき よしまさ
望月 芳将
(つなぐ)

市民

国民健康保険を安定的に運営するために

問 富士宮市における経営管理ビザによる、国民健康保険加入の実績について伺う。

部長 国民健康保険のシステムでは、ビザの種類ごとによって加入状況のデータをもっていない。経営管理ビザによる保険加入の実績は把握できない。

問 経営管理ビザによる高額医療制度の活用状況は。

部長 データがないので参考までに外国人全体としてお答えすると、高額医療費の支給は19人、45件に対し835万円、支給割合は約0.8%である。

問 外国人の国民健康保険税の収納状況について伺う。

部長 市では詳細には把握していない。厚生労働省の調べでは、外国人に限った収納率は

63%である。

問 経営管理ビザと国民健康保険制度の問題点として、一番目に実態把握が自治体としてできないという点。二番目にこうした仕組みを悪用して、短期に加入して祖国に帰ってしまい、保険税の滞納が追いかけられないと認識している。市として何らかの事を起こしていくべきと考えるが。

市長 私も非常に勉強不足、今、副市長から聞いてテレビで問題になっている話だとのことで。

私は、静岡県国民健康保険連合会の理事長で、このことは国民健康保険連合会としてもきちんと調査して未納がないように努めてまいりたい。

意見 外国人の全員が悪いという話でなく、制度を悪用して保険税を滞納し、短期で帰国してしまうことが問題で、当市が今、案件がないとしても制度が存在する以上、懸念や疑問が残る。



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

産業振興
市教
民育

市内特定箇所の悪臭騒ぎの対応について

問 この農地の許可はどうなっているのか。

部長 この農地は農業委員会の許可を受け、農地法3条が許可されている。

問 行政として異臭に対し動いていくのか。

市長 由々しき問題、重大な問題と捉えている。今後住民理解が得られないと許可しないくらいの厳しい対応をする必要ありと考えている。

部長 事業者に対し熟成堆肥を持ち込ませる、大量持ち込みではなく、すき込みをしっかりとさせる、行為自体を職員が確認しながら、臭気のサンプルを採取し測定を行う。

特殊詐欺被害の現状と対策について

問 市内被害件数と被害総額について。

部長 令和4年から6年までは、毎年6-7件総額は650-1,300万円前後であるのに対し、

令和7年は既に8件8,267万円であり、件数被害額ともに前年を大きく上回っている。

問 『広報ふじのみや』での周知は出来ないか。

部長 市民への注意喚起は大変大切であり、広報課と協議しできるだけ早い掲載を開始したいと考えている。

公立保育園・小中学校の熱中症対策について

問 水分補給と塩分補給の必要性について。

部長 小中学生は体格や体力の面から大人と比べ熱中症にかかりやすい傾向にある。水分補給および塩分などの電解質の摂取も重要である。経口補水液やスポーツドリンクは常備している。

問 塩分タブレットを教育委員会で大量購入できないか。

部長 早速購入の準備を始め、学校規模人数に応じて全小中学校に配布する手配を進めている。



▶塩分タブレット